

第6日 第6章 技術相互利用型ビジネスモデルと知財マネジメント

- 1 【○】「一製品多数技術」の商品開発での導入期は、製品を市場に紹介する時期であり、商品の開発導入とそのブランド化が基本となる。

【解説】 p. 93

- 2 【×】成長期は、製品技術もある段階まで達して機能的に安定する時期であり、また売上高も利益も最大化する時期である。

【解説】 p. 95 成熟期の説明であり、成長期は売り上げが増加し市場規模が拡大する時期である。

- 3 【○】成熟期を経た衰退期は、他社品も含めて市場が飽和状態となり、その中の生き残り競争で各社が疲弊する時期である。売上高は低下し、利益も低迷する。

【解説】 p. 96